

香川大学教育学部からの出前講座⑥（１年）

を実施しました

１０月２５日、香川大学教育学部から宮前淳子先生をお招きし、「**身近にある心理学**」というテーマで、教育創造コースの１年生にご講義をいただきました。



心理学は、行動の科学

心理学：人間の行動についての普遍的・客観的な原理や法則を追求する科学

研究方法（例）

実験・調査によるデータ収集、統計法による

日常にあるいろいろな疑問を研究しています！
例えば、

- ・ 推し活は人を幸せにするか
- ・ 子どもの嘘の発達
- ・ 子どもの課金行動と家族の行動
- ・ PK を成功させる「セルフトーク」とは
- ・ 購買行動を促進する要因



Aさん（中学３年生）からの質問

「小学生の弟がいます。いつも、なかなか宿題をしないので困っています。弟はゲームをしたり、アニメを見たり、だらだらしています。どうしたら、ちゃんと宿題をするようになりますか？」

➡あなたなら、どんなアドバイスをしますか？ 考えてみましょう！

自発的行動の学習（Operant Learning Theory）

ある環境で起こった自発的行動が結果を生じさせ、その結果が刺激となって、今後の行動に影響を与えるメカニズム

先行刺激 ➡ 自発的行動 ➡ 後続刺激

話し合ってみよう・・・小学生～中学生だった時を思い出して下さい。

「これは有効な強化子*だった！」と思うものは何ですか？

（これがあるとがんばれた！うれしかった！）

➡記憶に残っているものを、教えてください。

先行刺激 ➡ 適切な行動 ➡ 強化（かわり）

➡目に見える評価、気持ちに残る評価を。行動のあとも大切に！



*オペラント条件づけでは、オペラント行動の頻度が高くなることを「強化」と言い、その強化刺激のことを「強化子」と言う。

将来、教員になったときにも、また、これからの支援活動の中でも早速実践できる大変ためになる内容でした。

宮前先生、本当にありがとうございました。